

## 第2回 DMVの導入・普及に向けた検討会 議事要旨

### ○議事概要

資料1及び資料3を鉄道局が、資料2-1を夕張市が、資料2-2を徳島県がそれぞれ説明し、質疑応答及び自由討議が行われた。

### ○委員からの主な意見等

(DMV導入の進め方について)

- ・プロジェクト推進主体として、鉄道会社だけでなく、一つの自治体だけでもなく、いろいろなところが連携してやっていかなければならない。
- ・誰が事業主体になってやるのが良いかについては、地域それぞれに解がある。
- ・地域で、公共交通をコーディネートする人を育成していくことが重要。
- ・少子高齢化の中で、地域の持続ある交通システムをソフト・ハードの面でどう作るかという大前提にたった議論をしていくことが重要。
- ・ターゲット層については、曜日別、時期別等、詳細な分析が必要。まずは特定の時期、特定の時間帯のみで導入するという考えられる。
- ・利用する側からみてどういうことが求められているか、という視点が重要。

(事業スキームについて)

- ・連結走行については、保安・安全上の問題がどう担保できるかが今後の課題。連結走行で輸送力を確保することは、線路上を走る最大のメリット。
- ・混在運行については、ニーズがあれば開発していくことも必要。
- ・DMVの専用免許を実現できないか。
- ・DMVはバスやタクシーの需要を確実に奪うし、奪わなければ当然成り立たない。どのように棲み分けるか、新たな需要をどうやって確保するかという点が重要。
- ・赤字となった場合の分担をどうするかも問題。

(設備について)

- ・バリアフリー対応について、自動車の構造は鉄道に比べて簡単であり、DMVに合わせた特別な架装も検討可能ではないか。
- ・「柔軟性」、「フレキシブル」が非常に重要なキーワード。土地利用が変更されても柔軟にルート設定できる、というのが大きな価値ではないか。
- ・ホーム上で簡単に乗り換えられるようなシステムにしたほうがよい。

<以上>